



平成 30 年度

クリーン仙台推進員

ごみ集積所排出実態調査結果

平成 31 年 3 月

仙台市環境局家庭ごみ減量課

クリーン仙台推進員 ～ごみ集積所排出実態調査結果～

一 目的

クリーン仙台推進員の皆さまが地域の中で活動していくうえで、お住まいの地域の「ごみ排出の実態」を把握することにより、今後の活動の方向性を見出し、適正排出、ごみ減量・リサイクルの推進、環境美化活動を町内会等の皆さまと一緒に活動していただくことで、地域における環境意識の高揚を図ることを目的としております。

二 調査員数

クリーン仙台推進員 693 人，協力者 771 人，合わせて 1,464 人

三 調査日

平成 30 年 10 月で各クリーン仙台推進員が選定した日

四 調査場所

各クリーン仙台推進員が選定したごみ集積所，合計 1,326 か所

五 調査内容

ごみ集積所排出実態調査票

(1) 調査対象の集積所の状況

集積所の場所や形状，利用者の世帯数及び地域性の確認。

(2) 家庭ごみの排出状況

正しい出し方や間違った出し方のごみ袋の数の確認，リサイクル可能な資源物の混入状況の把握。

(3) プラスチック製容器包装の排出状況

正しい出し方や間違った出し方のごみ袋の数の確認，プラスチック製容器包装以外のプラスチック製品，及び汚れのひどいものの混入状況等の調査。

(4) 缶・びん・ペットボトルの排出状況

フタがはずされているか，ラベルがはがされているか，ペットボトルがつぶされているか等の調査。

(5) 紙類定期回収の排出状況

品目ごとの分別や排出状況，紙類収集曜日の掲示物等の調査。

六 集計結果（まとめ）

ごみ集積所の鳥獣被害対策（ネット等）の実施状況，家庭ごみ及びプラスチック製容器包装の指定袋の使用割合などは前回に引き続き良好な結果となっております。

また，紙類リサイクルへの関心が高まっている反面，缶・びん・ペットボトルの排出の仕方や，家庭ごみからリサイクル可能な資源物の分別の徹底などは，さらなる改善が必要な結果となりました。

皆さまからいただいた調査票は，本市のごみ減量の施策を検討する上で貴重なデータとさせていただきます。今後とも市民の皆さまと協働してごみの減量とリサイクルを推進してまいりますので，地域のリーダーとしてご活躍されているクリーン仙台推進員の皆さまには，引続きご理解とご協力をお願いいたします。

なお，調査結果の詳細につきましては，以下 1～9 のとおりです。

※グラフの構成比（％）は百分率で表し，小数点第 2 位以下で四捨五入して算出しているため，各比率の合計が 100％とならない場合があります。

※グラフ中各年度の“n＝”は回答総数です。

1 調査概要

平成 30 年 10 月に排出状況を調査いただきました。その月内で家庭ごみは 2 回、プラスチック製容器包装、缶・びん・ペットボトル及び紙類は 1 回の収集日を選んでいただきました。

2 各区の調査員数および調査箇所数

H30 年度実績

行政区	調査員数			調査箇所数
	推進員	協力者	合計	
青葉区	169	144	313	353
宮城野区	120	89	209	216
若林区	103	103	206	215
太白区	161	221	382	310
泉区	140	214	354	232
合計	693	771	1,464	1,326

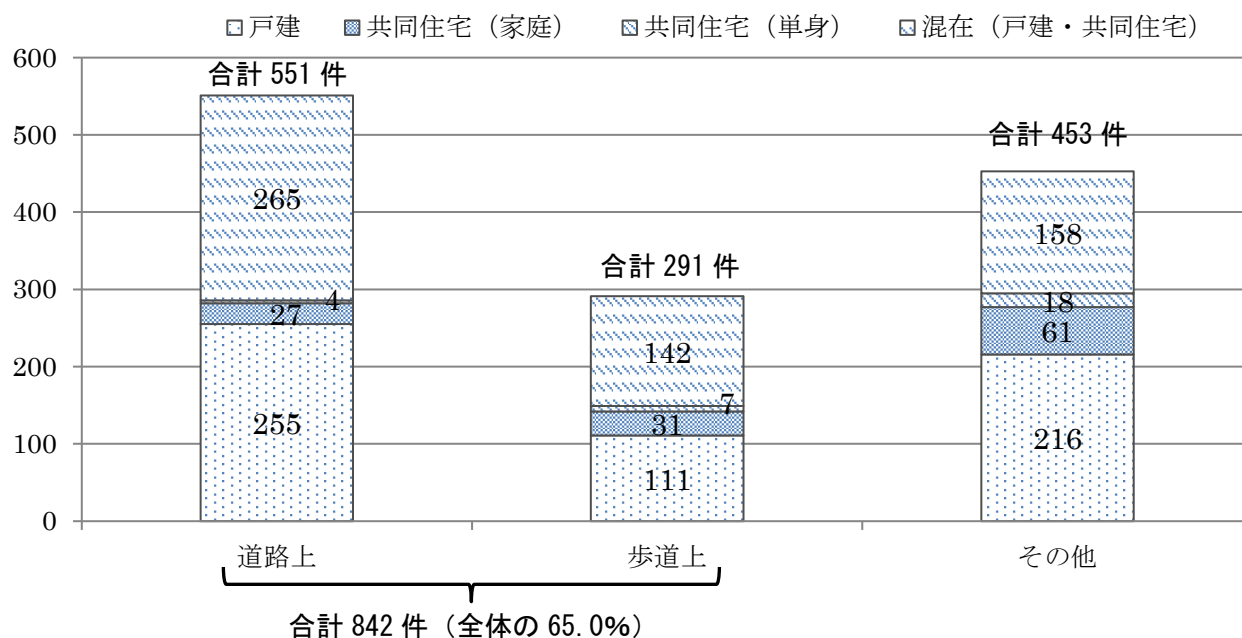
過去 5 年間の実績

年度	調査員数	調査箇所数
29	1,654	1,399
28	1,600	1,662
27	1,716	1,850
26	1,599	1,762
25	1,579	1,699
平均	1,630	1,674

平成 30 年度の実績は、左上の表のとおり調査箇所数は 1,326 カ所となり、平成 29 年度に比べて 73 カ所減少しました。また、調査員数については 1,464 名と、平成 29 年度と比べ 190 名減少という結果になりました。

3 調査したごみ集積所の状況

(1) 設置場所ごとの利用者の居住形態

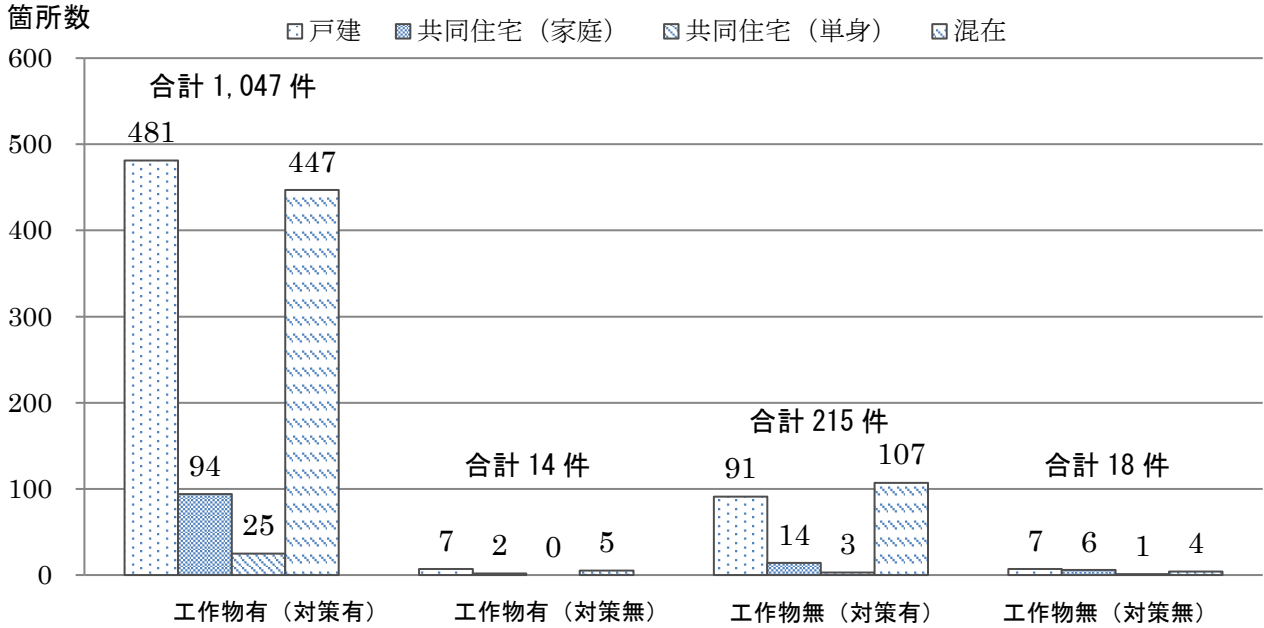


調査したごみ集積所の設置場所ごとに利用者の居住形態を表したグラフです。調査した集積所のうち道路上・歩道上に設置されている集積所は合わせて 842 カ所で、全体の 65.0% を占めています。

また、戸建住宅にお住まいの方が利用されるごみ集積所は 582 カ所 (全体の 44.9%)、戸建と共同住宅にお住まいの方が混在して利用している集積所は 565 カ所 (全体の 43.6%) でした。

※設問に対する未回答 (31) は除いています

(2) 設置場所と鳥獣被害対策の実施状況

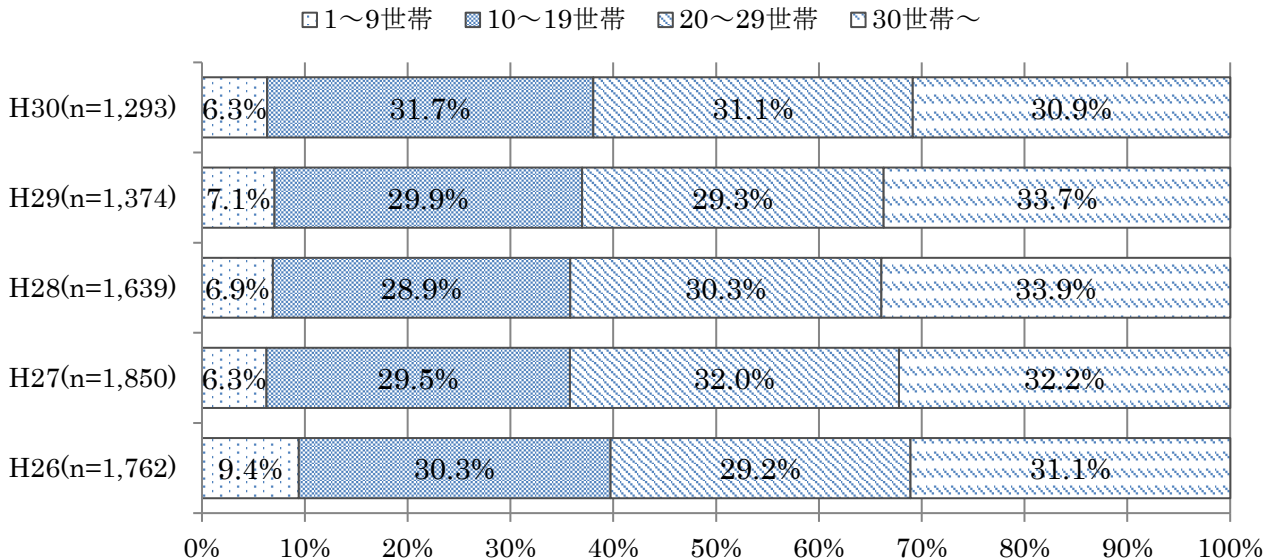


これは、設置場所と鳥獣被害対策の状況についてのグラフです。調査ではネット等による鳥獣被害対策がなされている集積所は「工作物*あり(対策有)」が1,047カ所、「工作物無(対策有)」が215カ所、合わせて1,262カ所(全体の約97.5%)となりました。また、工作物もなく鳥獣対策も講じていない集積所は18カ所で約1.4%でした。

※工作物・・・集積所のごみの飛散などの防止を目的に作られた囲いなど

※設問に対する未回答(32)は除いています

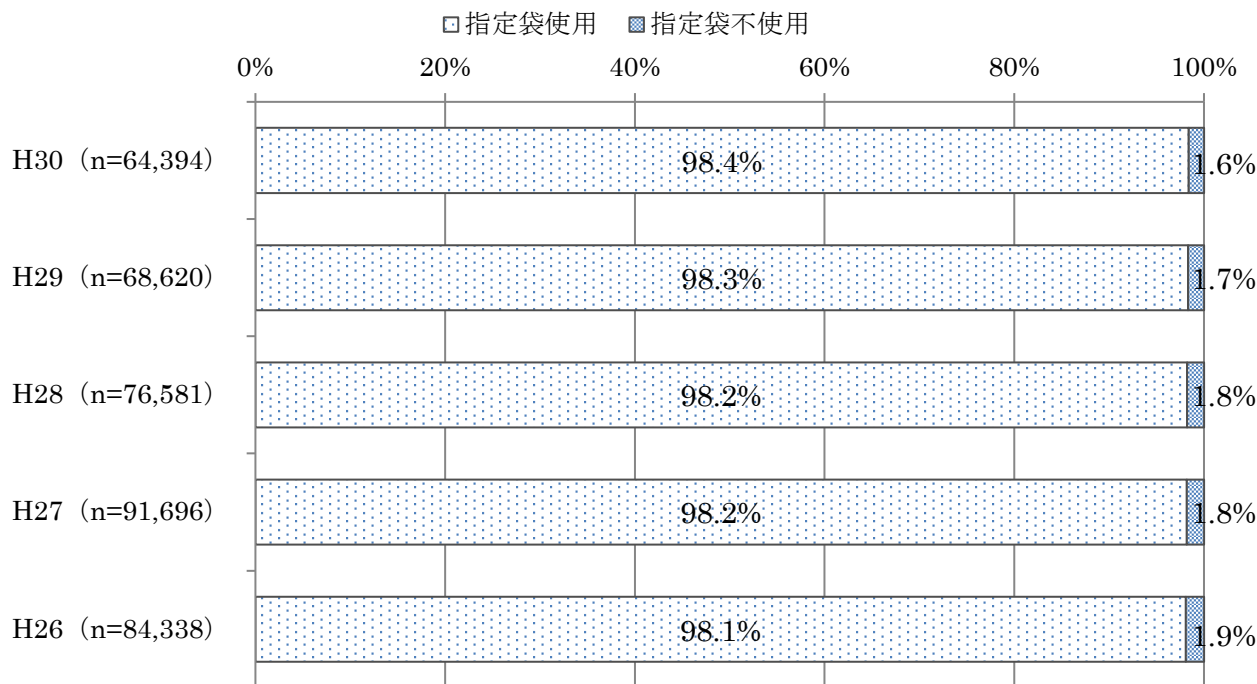
(3) 利用世帯数（年度別）



これは、集積所ごとの利用世帯数の割合について表したグラフです。調査対象の集積所を利用している世帯は、「1～9世帯」が6.3%、「10～19世帯」が31.7%、「20～29世帯」が31.1%、「30世帯以上」が30.9%となっており、今回調査した集積所の約62%は20世帯以上の方が利用している比較的排出量が多い集積所となっています。

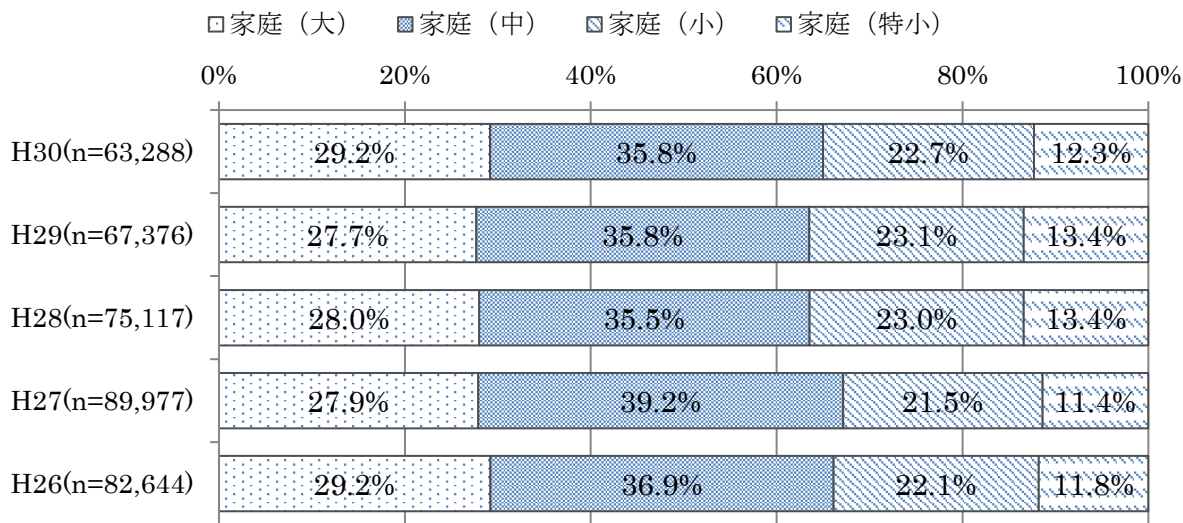
4 家庭ごみの排出状況

(1) 指定袋の使用割合（年度別）



家庭ごみの指定袋の使用状況を年度別に表示したグラフです。概ね正しい指定袋が使用されています。

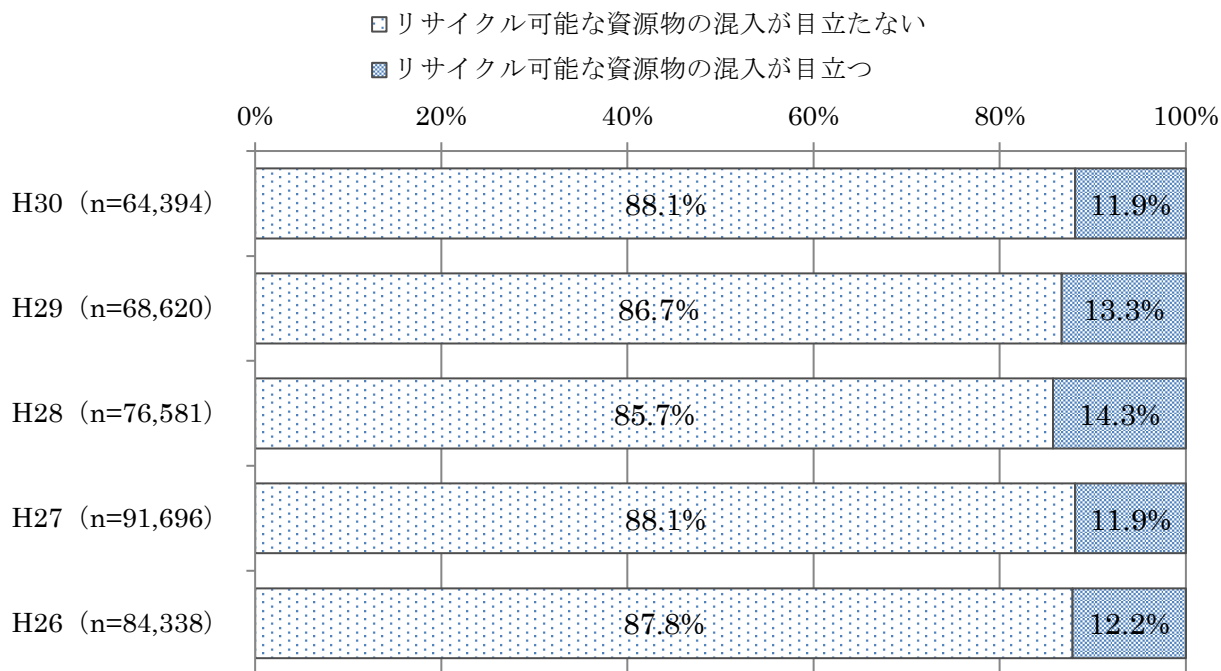
(2) 指定袋のサイズの内訳（年度別）



H30 調査指定袋数 調査箇所数 1,326 カ所		H29 調査指定袋数 調査箇所数 1,399 カ所	
大袋	18,457 袋	大袋	18,650 袋
中袋	22,671 袋	中袋	24,151 袋
小袋	14,378 袋	小袋	15,552 袋
特小	7,782 袋	特小	9,023 袋
合計	63,288 袋	合計	67,376 袋

家庭ごみを指定袋のサイズごとに調べた割合を表したグラフです。大袋の割合は、平成 29 年度と比較すると、1.5 ポイント増加し、小・特小袋の割合は 0.4, 1.1 ポイントそれぞれ減少しています。全体的には例年ほぼ横ばいの結果となりました。集積所 1 カ所あたりの排出されたごみ袋の数は、29 年度は 48.2 個なのに対し、30 年度は 47.7 個と若干減少しています。

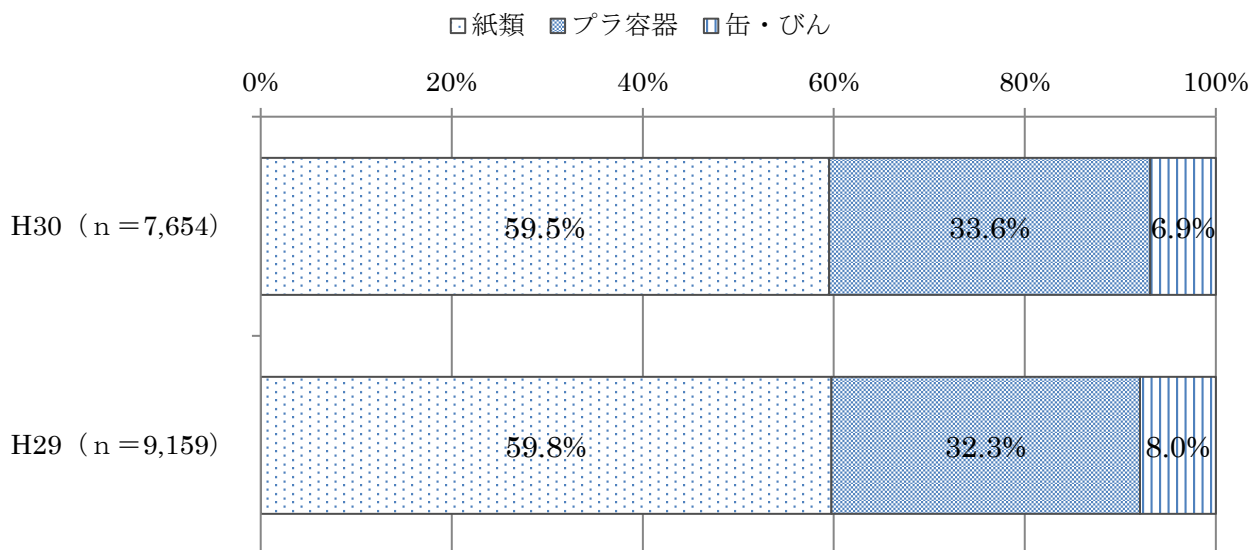
(3) リサイクル可能な資源物の混入状況（年度別）



これは、家庭ごみの中に、プラスチック製容器包装、紙類、缶・びん等のリサイクル可能な資源物の混入が目立つ袋の割合を表したグラフです。

平成30年度のリサイクル可能な資源物の混入が目立つ割合は11.9%となり、29年度に比べ1.4ポイント改善しました。

(4) リサイクル可能な資源物の混入が目立つ袋中の混入物の内訳

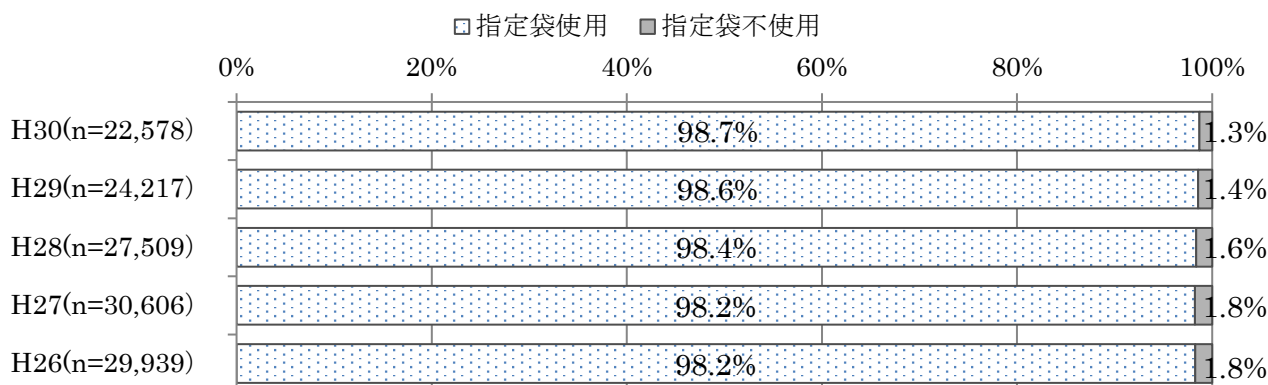


これは、(3)の平成30年度「リサイクル可能な資源物の混入が目立つ」袋の混入物(11.9%)についての内訳と平成29年度「リサイクル可能な資源物の混入が目立つ」袋の混入物(13.3%)についての内訳を比較したグラフです。

どちらのグラフも内訳では紙類の混入率が約6割と大変高い割合となっております。ごみ減量を進めるにあたっては、リサイクル可能な紙類を混入させないための対策が重要であることがわかります。

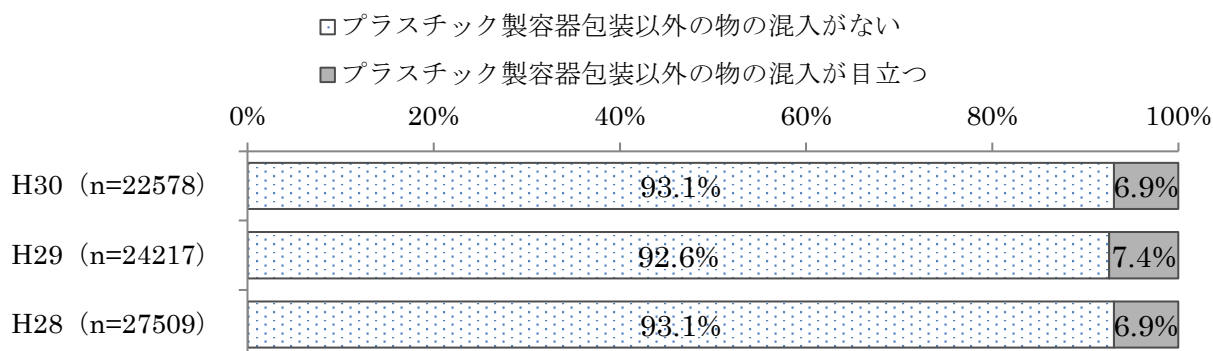
5 プラスチック製容器包装の排出状況

(1) 指定袋の使用割合（年度別）



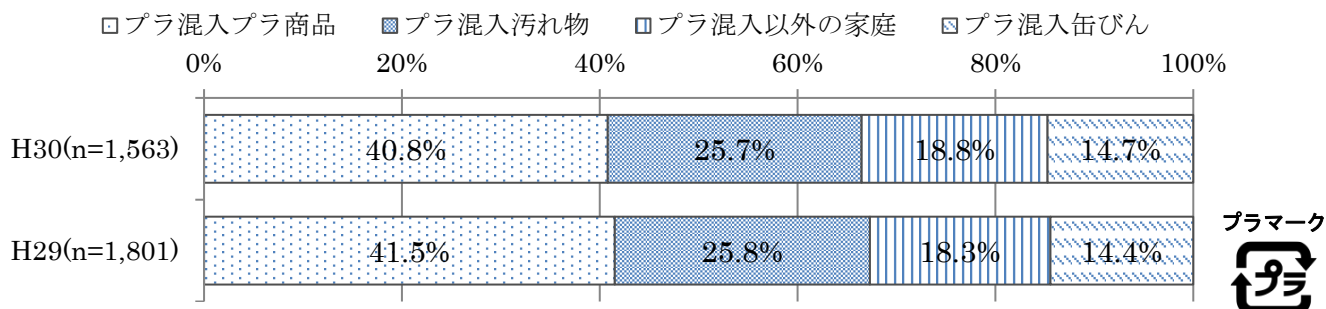
これは、プラスチック製容器包装の指定袋の使用状況を年度別に表示したグラフです。家庭ごみ同様、例年、概ね正しい指定袋で排出されております。

(2) プラスチック製容器包装以外の物の混入状況（年度別）



これは、「プラスチック製容器包装以外の物が混入している（目立つ）袋」の割合を表したグラフです。混入が目立つ袋の割合は6.9%となっており、昨年度に比べ0.5ポイント改善しました。

(3) プラスチック製容器包装以外の物の混入が目立つ袋の内訳



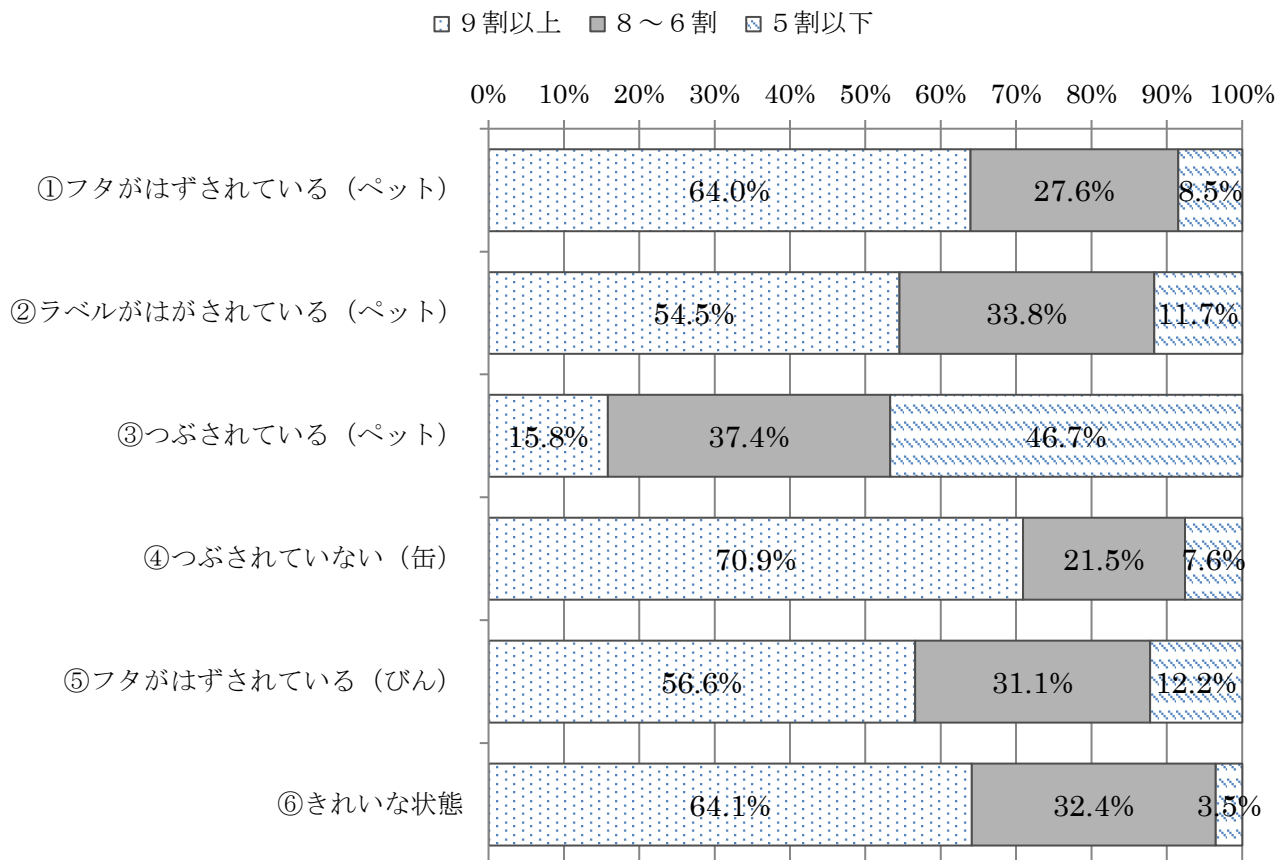
(2)の「プラスチック製容器包装以外の物の混入が目立つ袋」の混入物についての内訳を表したグラフです。

平成29年度から引き続き「プラ商品の混入」と「汚れ物の混入」の割合が高く、全体の66.5%を占める結果となりました。今後もプラスチック製容器包装とプラ商品を区別する目安となる「プラマーク（右上図）」を確認して分別することが重要です。

また、プラスチック製容器包装であっても汚れている物はリサイクルできないことをさらに周知をしていきます。

※中身が残っている状態のものはリサイクルできません。

6 缶・びん・ペットボトルの排出状況



これは、缶・びん・ペットボトルの排出状況について表したグラフです。

上段から、ペットボトルの排出状況について、①フタがはずされている状況と②ラベルがはがされている状況は、「9割以上」「8～6割以上」を合わせると概ね9割となっており良好な状態であります。

しかしながら、③つぶされている状況については、「5割未満」が46.7%とペットボトルの排出状況の中で、最も浸透していない結果となりました。ペットボトルをつぶさないとすぐに回収容器がいっぱいになり、結果として、多くの回収容器が必要となり、排出スペースが広がり、道路上、歩道上では、歩行者等の通行支障となるとともに、収集効率の低下にもつながります。皆さまのご協力とさらなるPRが必要であると考えます。

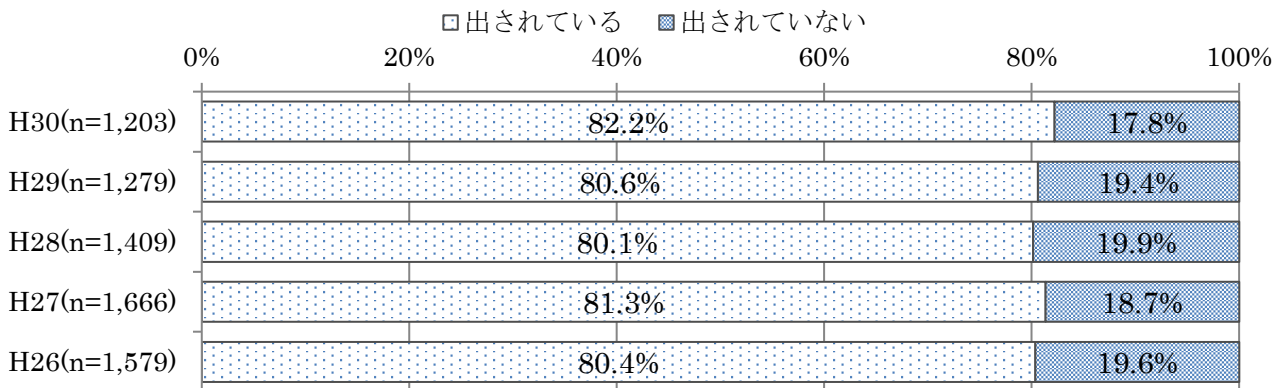
次に、缶の排出状況については、④缶がつぶされていない状況は「9割以上」が70.9%で、「9割以上」と「8～6割以上」を合わせると92.4%となり良好な結果となりました。

次に、びんの排出状況については、⑤びんのフタがはずされている状況は、「9割以上」と「8～6割以上」を合わせると87.7%の集積所で適正にびんのフタがはずされており、概ね良好な結果となりました。

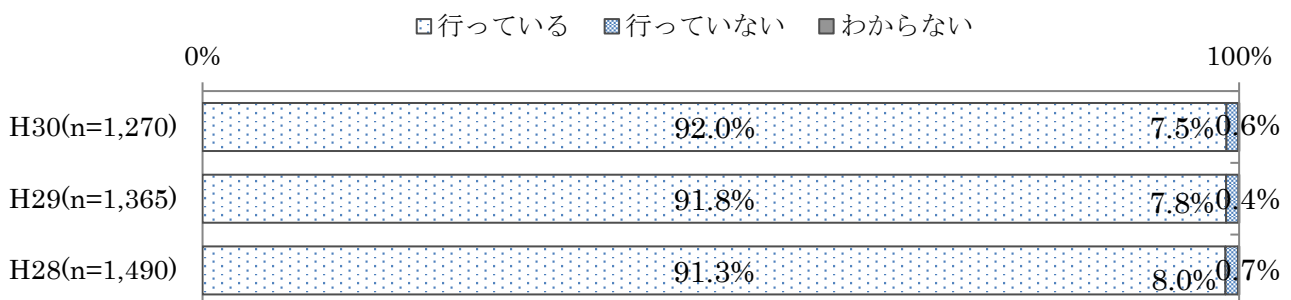
最後に⑥缶・びん・ペットボトルがきれいな状態で排出されている状況について、「9割以上」と「8～6割以上」を合わせると96.5%になり、良好な結果となりました。汚れのひどいものや異物が混入しているものはリサイクルできないことから、引き続き周知してまいります。

7 紙類の排出状況（年度別）

① 紙類が排出されている集積所の割合



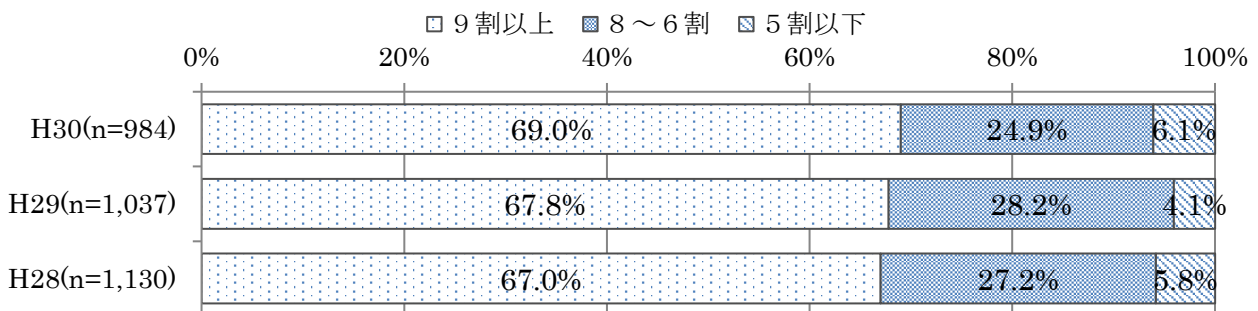
② 集団資源回収の実施状況



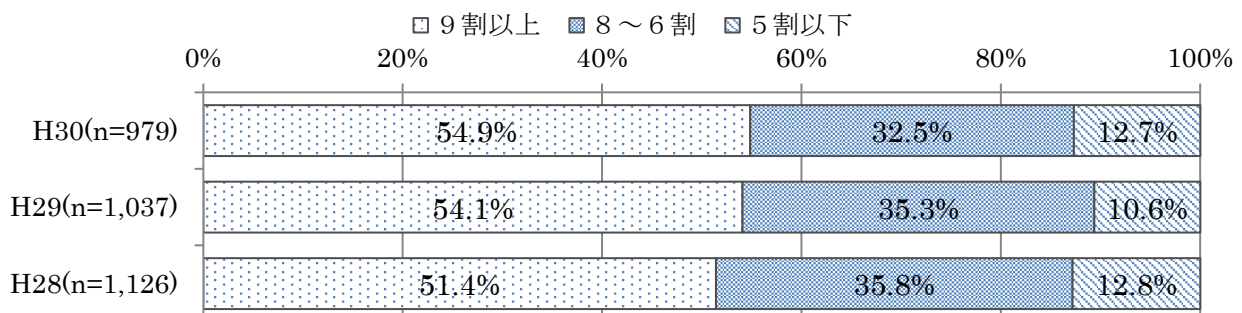
①については、紙類が出されている集積所は全体の8割以上あり、前回の調査より1.6ポイント増加しておりますが、依然17.8%の集積所では紙類の排出がありません。

②については、「実施している」は9割を超え、集団資源回収が紙類回収に有用である状況が窺えます。

③ 品目別に分類している割合



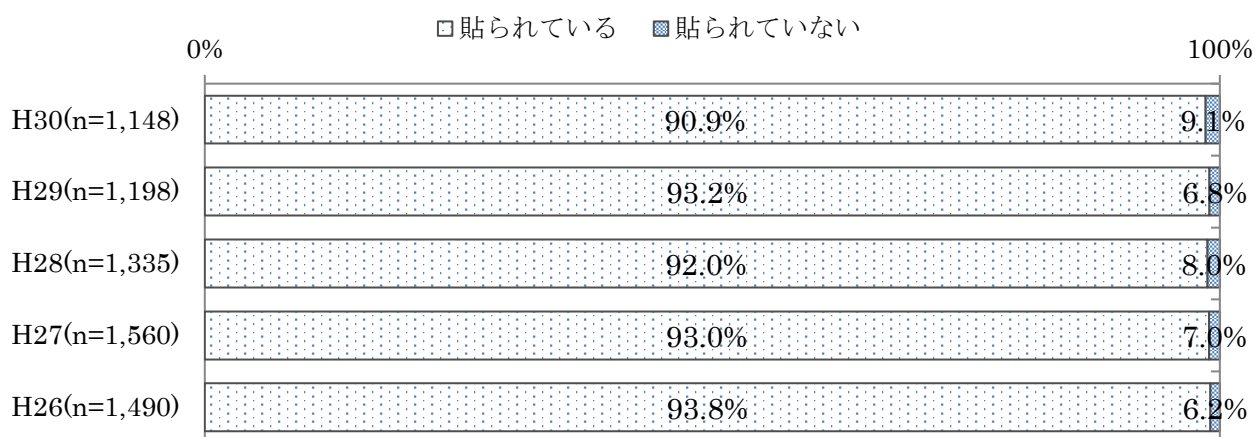
④ ひもで十文字に縛られている割合



③の「品目別に分別している」については、「9割以上」と「8～6割以上」を合わせると9割以上の集積所できちんと分別されています。

また、④の「ひもで十文字に縛られている」については、「9割以上」「8～6割以上」を合わせると8割以上となり、概ね良好な状態となっております。

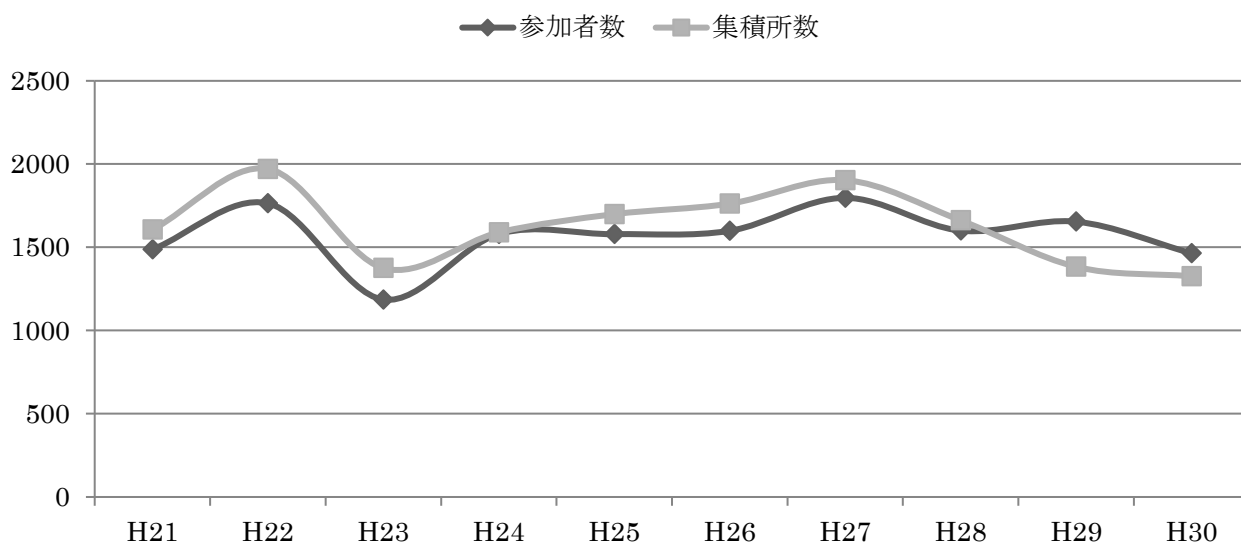
⑤ 紙類収集曜日のシールが貼られている割合



紙類定期回収の収集曜日シールの貼付状況は、「貼られている」が9割以上となっております。

紙類定期回収の収集曜日シールによる標示は、地域の方々に紙類定期回収の収集曜日を周知するのに大変有効です。シールが劣化し見えにくくなった等で新しいシールが必要となった場合は、お住まいの区の環境事業所へご連絡ください。

8 参考資料「年度別のごみ集積所排出実態調査参加人数及び調査集積所数」



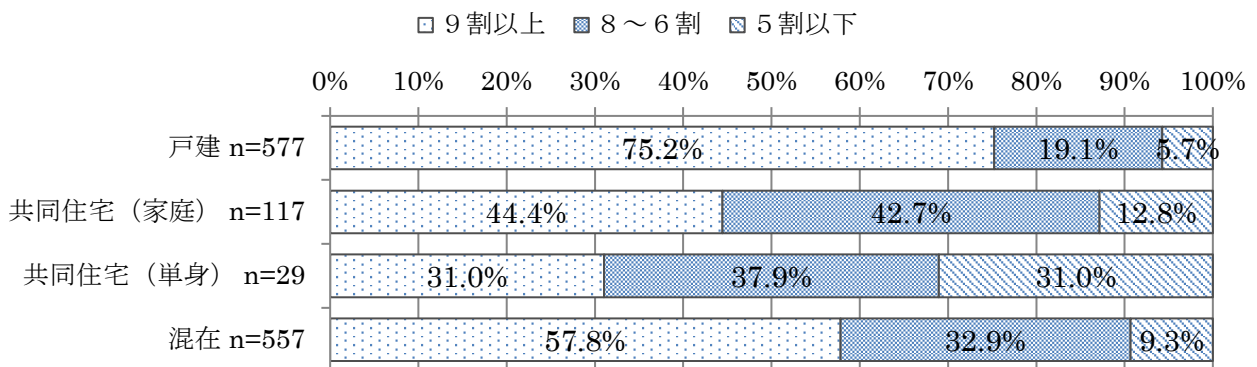
「ごみ集積所排出実態調査」の参加者及び調査集積所数を年度別に表したグラフです。

毎年度、多くの方々にご参加いただき、感謝申し上げます。

平成21年度は参加者1,487名、調査集積所数1,606カ所でしたが、平成23年度は震災の影響により、参加者1,186名、調査集積所数1,375カ所に減少しました。その後は増減を繰り返し、平成30年度は、参加者1,464名、調査箇所数1,326カ所となっております。

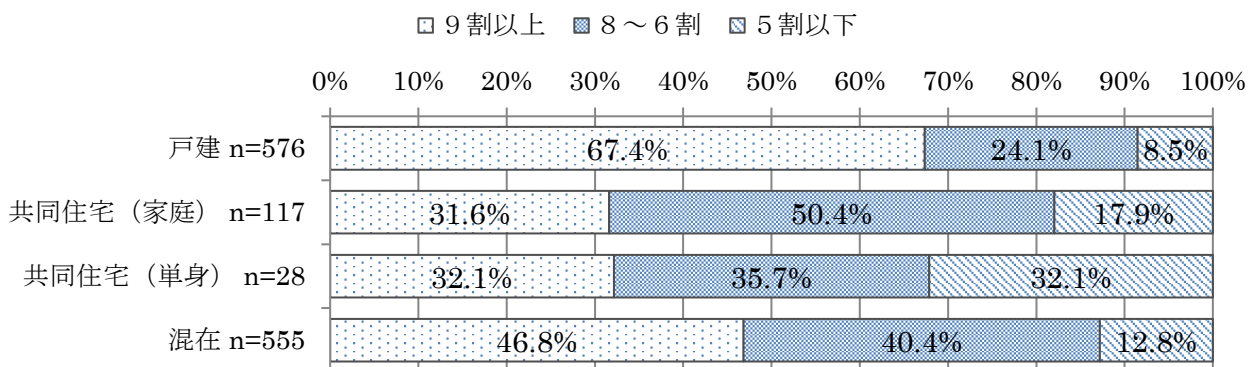
9 参考資料「利用者の居住形態別の缶・びん・ペットボトル排出状況」

(1) ペットボトルのフタがはずされている



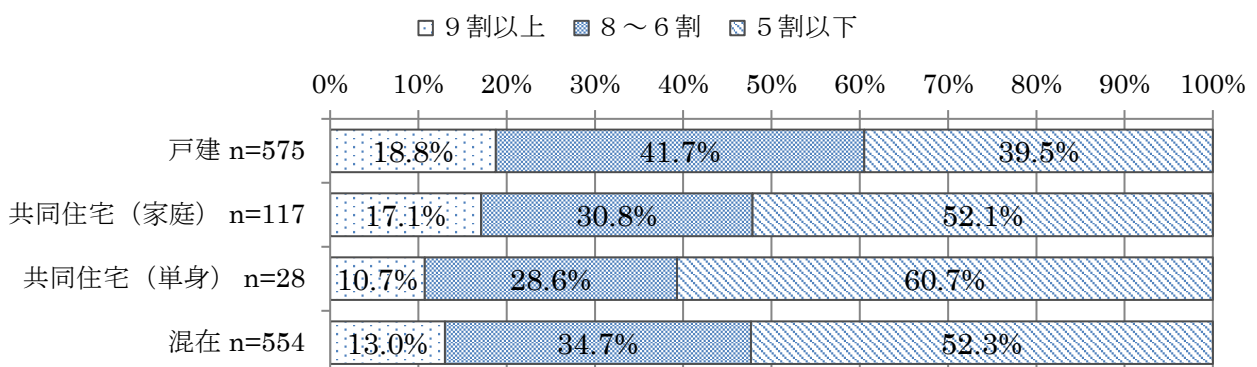
ペットボトルのフタがはずされている状況が9割以上となっている割合については、戸建住宅にお住まいの方が主に利用されている集積所が75.2%と最も高く、次いで戸建・共同住宅が混在している地区の集積所が57.8%となっており、主に単身者向けの共同住宅にお住まいの方が利用されている集積所では31.0%との結果になりました。

(2) ペットボトルのラベルがはがされている



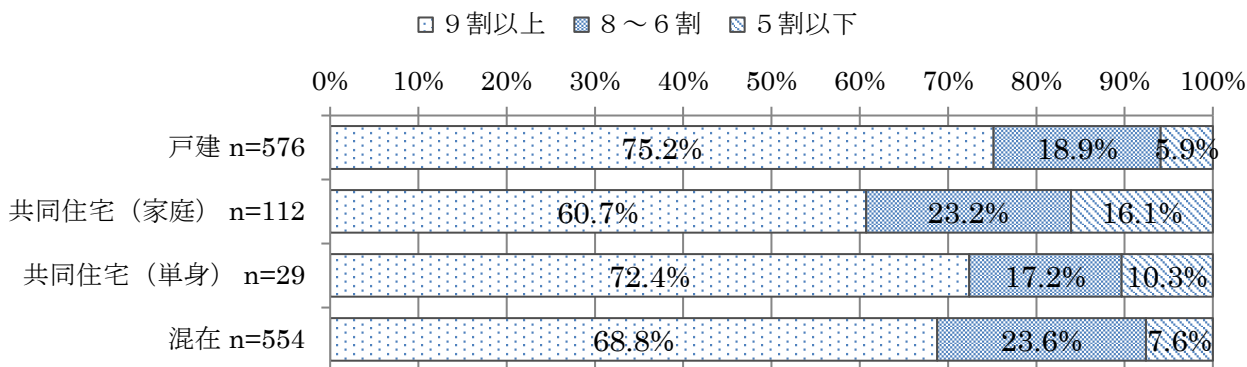
ペットボトルのラベルがはがされている状況が9割以上となっている割合については、戸建住宅にお住まいの方が主に利用されている集積所では67.4%で、次いで戸建・共同住宅が混在している地区の46.8%となっています。フタに比べはがされている割合が低く、今後の普及・啓発活動が必要と考えます。ペットボトルのフタやラベルは混入した場合に高品質のリサイクル材とはならないため、正しい排出方法の啓発に努めてまいります。

(3) ペットボトルがつぶされている



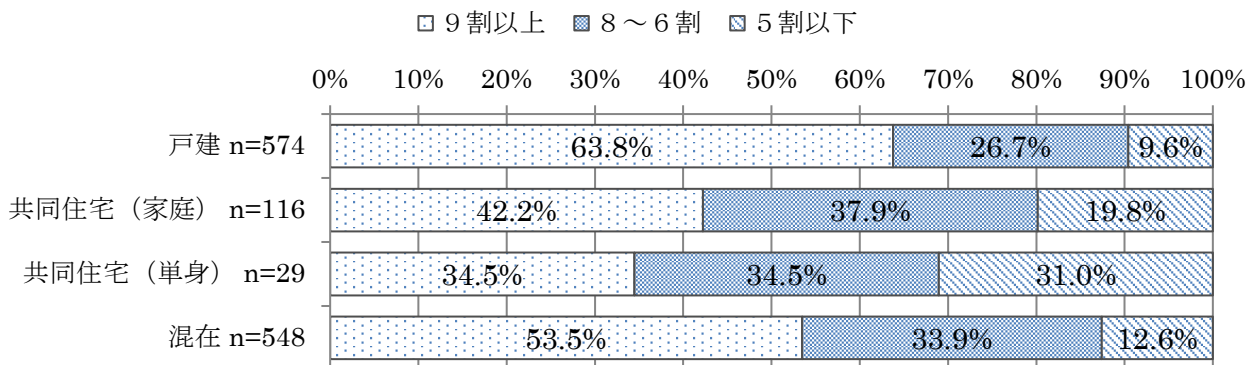
ペットボトルがつぶされて排出されている状況が9割以上である割合としては、キャップやラベルの状況と比べると全体的に低い傾向にあります。ペットボトルは嵩が増すため、ごみ集積所の有効活用や収集作業の効率化のためには、つぶしていただく必要がありますので、ご協力をお願いいたします。

(4) 缶がつぶされていない（原形のまま）



缶の排出状況は、全体的につぶされないで出している割合が高くなっております。缶は資源化センターに集められ、素材ごとに選別、圧縮し、固められ、リサイクル工場へ運ばれます。つぶされた状態で出されますと、圧縮する際に缶同士が噛み合わず運搬に支障がでますので、缶を出す際はつぶさずに出してください。また、たばこの吸い殻などの異物が混入した場合もリサイクルに支障が生じますので、異物等は混入しないようご協力をお願いします。

(5) びんのフタがはずされている



びんのフタをはずして排出される状況は、戸建住宅にお住まいの方が主に利用されている集積所と戸建・共同住宅が混在している地区の集積所では高い割合となっておりますが、まだ、守られている状況ではありません。多くのフタは金属とプラスチックの複合素材で作られているためリサイクルできません。そのため、フタがついたまま排出されると資源化センターで取りはずす作業が必要となり効率的な作業の妨げとなります。フタははずして家庭ごみとして排出するようお願いいたします。

ごみ集積所排出実態調査票

調査 No.

町内会名 _____

推進員氏名 _____ 推進員 No. _____ - 1 -

※調査記録者が申し込みされた推進員と違う場合は下記も記入をお願いします。

調査員記録者氏名 _____

○調査対象の集積所の状況

1 どんな場所にありますか？

- ①道路上（車道） ②道路上（歩道） ③その他（空き地など）

2 どんな形状ですか？

- ① 工作物（ネット等鳥獣対策あり） ②工作物（鳥獣対策なし）
③ 工作物なし（ネット等鳥獣対策あり） ④工作物なし（鳥獣対策なし）

3 どのような方が利用していますか？

- ①戸建住宅 ②共同住宅（家庭が多い） ③共同住宅（単身者が多い）
④ ①～③の混在

4 利用している世帯数は、どのくらいですか？

- ① 1～9世帯 ② 10～19世帯 ③ 20～29世帯 ④ 30世帯～

5 集積所の状況について、感想や困っていることなどを記入してください。

[_____]

※ 調査が終わり次第、同封の返信用封筒にまとめて提出いただくよう、よろしくをお願いします。なお、封筒に入りきらない場合は、お住まいの地区の環境事業所にお問い合わせください。

※ ごみ集積所排出実態調査の説明書をご覧の上、補助票で積算していただき、積算結果を調査票に記入をお願いします。

○家庭ごみの排出状況（1回目）

調査月日 月 日 () 調査時間 : ~ : 天気

1 排出袋などの数を記入願います

- (1) 正しい出し方 { ・指定袋（大__袋、中__袋、小__袋、特小__袋）
・ポリバケツを使用し指定袋で出している__個

- (2) 間違った出し方 { ・指定袋以外の袋（旧指定袋・レジ袋など）__袋
・その他__個

2 リサイクル可能な資源物が混入している（目立つ）袋の数

- { ・紙類__袋 ・プラスチック製容器包装__袋
・缶、びん、ペットボトル__袋

※ごみ袋は開封せず、袋の外側から見える範囲で資源物が確認される袋の数を記入してください。

○家庭ごみの排出状況（2回目）

調査月日 月 日 () 調査時間 : ~ : 天気

1 排出袋などの数を記入願います

- (1) 正しい出し方 { ・指定袋（大__袋、中__袋、小__袋、特小__袋）
・ポリバケツを使用し指定袋で出している__個

- (2) 間違った出し方 { ・指定袋以外の袋（旧指定袋・レジ袋など）__袋
・その他__個

2 リサイクル可能な資源物が混入している（目立つ）袋の数

- { ・紙類__袋 ・プラスチック製容器包装__袋
・缶、びん、ペットボトル__袋

※ごみ袋は開封せず、袋の外側から見える範囲で資源物が確認される袋の数を記入してください。

○プラスチック製容器包装の排出状況

調査月日 月 日 () 調査時間 : ~ : 天気

1 排出袋などの数を記入願います

(1) 正しい出し方 { ・指定袋 (大 ___ 袋、中 ___ 袋、小 ___ 袋)
・指定袋が貼ってある発泡スチロール ___ 個

(2) 間違った出し方 { ・指定袋以外の袋 (旧指定袋・レジ袋など) ___ 袋
・その他 ___ 個

2 プラスチック製容器包装の対象外の混入している (目立つ) 袋の数

- ①プラスチック商品 ___ 袋
- ②汚れのひどい物 ___ 袋
- ③上記以外の家庭ごみ ___ 袋
- ④缶、びん、ペットボトル ___ 袋

※ごみ袋は開封せず、袋の外側から見える範囲でプラスチック製容器包装対象外の物が確認される袋の数を記入してください。

○缶・びん・ペットボトルの排出状況

調査月日 月 日 () 調査時間 : ~ : 天気

1 ペットボトルの排出状況

- (1) ペットボトルのフタがはずされている ① 9割以上 ② 8～6割 ③ 5割以下
(2) ペットボトルのラベルがはがされている ① 9割以上 ② 8～6割 ③ 5割以下
(3) ペットボトルがつぶされている ① 9割以上 ② 8～6割 ③ 5割以下

※ ペットボトルはつぶして、回収容器へ出してください。

2 缶の排出状況

- (1) 缶がつぶされていない (原形のまま) ① 9割以上 ② 8～6割 ③ 5割以下

※ 缶はつぶさないで、資源箱に出してください。

3 びんの排出状況

- (1) びんのフタがはずされている ① 9割以上 ② 8～6割 ③ 5割以下

4 その他

- (1) 缶・びん・ペットボトルはきれいな状態である

① 9割以上 ② 8～6割 ③ 5割以下

○紙類定期回収の排出状況

調査月日 月 日 () 調査時間 : ~ : 天気

1 収集日に紙類は出されていますか？

- ①出されている ②出されていない

2 品目別に（新聞・段ボール・紙パック・雑誌・雑がみ）きちんと分別されている割合はどのくらいですか？

- ①9割以上 ②8～6割 ③5割以下

3 きちんとひもで十字にしばられている割合はどのくらいですか？

- ①9割以上 ②8～6割 ③5割以下

4 集積所ステッカーに紙類収集曜日のシールは貼られていますか？

- ①貼られている ②貼られていない

※ 集積所ステッカー（収集曜日等）がはがれている場合は、お住まいの地区の環境事業所にご連絡ください。

（関連質問）

問1 あなたの地区では子ども会などで集団資源回収をしていますか？

- ①行っている ②行っていない ③わからない

問2 排出実態調査の参加は何回目ですか？

- ①初めて ② _____ 回目

問3 今回の調査を何人で行いましたか？

_____ 人

以上です。有難うございました。